



アイクリは信頼のマーク

クリーニング愛知

令和4年10月1日 年4回

第633号

発行所
愛知県生活衛生同業組合
名古屋市千種区大久手町5の11
〒464 電話 (052) 741-5334
-0854 FAX (052) 741-5198
aichi@zenkuren.or.jp
http://www.aikuri.net
発行人 塩野哲男

中央青年部会 令和4年度単青組首長会議・研修会を開催 全議案が承認され2期目となる部会長に田村直仁氏が就任 全ク連が行う次世代育成事業に今期も協力

中央青年部会（以下、中青会）は2022年7月9日（土）～10日（日）の2日間、年度総会にあたる令和4年度単青組首長会議・研修会を開催しました。

首長会議のリアル開催は3年ぶりとなりますが、コロナ禍が継続していることから開催方法は全ク連に準じて書面表決による参加も可とし、首長会議のインターネット配信やWEB会議システムを用いた研修会を行いました。

研修会は2日間にわたり開催し、3つのテーマで行いました。

研修①「次世代育成支援事業の方向性について」では、全ク連・金子征実専務理事、中青会・田村直仁部会長、松田真明副部会長の3名がパネラー、木村和行副部会長がコーディネーターとなり、パネルディスカッションを行いました。

全ク連は令和2～3年度の2年間、青年部活動の抜本的な見直しを行うため意見交換会を組織し、理事会と並行して今後の組合組織を担う次世代育成をテーマに議論を重ねてきました。令和3年度の議論の結論としては、中青会は従前通り存続して活動することに加え、令和5年度に全ク連が新たに「ブロック次世代支援会議」（仮称）を創設することとし、組合・組合青年部・全ク連・中青会が協力して、ブロック単位でフォローし合いながら次世代育成についての課題等を共有することになっています。

パネルディスカッションでは金子専務理事がこれまでの経緯を説明し、中青会正副部会長との掛け合いの中で疑問点に関する質疑や意見交換を行いました。

研修②は「青年部活動報告好事例に関する研究」と題し、全国の青年部の中から埼玉県、京都府、広島県、山口県の4単青組が代表となつて活動報告を行いました。

コロナ禍が長く続く中でも可能な青年部活動を模索した結果として、需要拡大や利用者啓発を目的としたYouTubeチャンネルの運営や、月1回をペースに講師を招いて開催しているクリーニング事業者むけオンライングループセミナー、助成金を活用したWEB講習会について発表が行われ、そのノウハウを共有しました。

研修③は「プラットフォーム事業について クリーニング店検索ミニアプリの概要説明」と題し行いました。

プラットフォームの構築は全ク連が令和4年度に実施する需要拡大関連の事業で、WEBサービスを提供する店舗の強みをPRする者として組合員店舗をマッチングさせることを目的としています。今後、組合員にとって使い勝手がよく、かつ顧客に浸透しやすい有益なソフトの開発を目指します。

今回の研修では現時点での構想についてシステム開発事業者が説明し、質疑応答を行いました。

単青組首長会議 議案の審議と役員改選について

令和4年度単青組首長会議には1～5号議案が上程され、上程したすべての議案が全会一致で承認・可決されました。



中青会は令和4年度も従来通りの活動は停止し全ク連が継続して実施する次世代支援組織構築のための各種事業に協力するほか、中青会を継続していくにあたり必要な規則の改正など、新たな青年部活動のあり方に則した見直しを行います。

また、第5号議案「任期満了に伴う役員改選について」で選任された新常任委員による部会長・副部会長互選を行い、部会長に田村直仁氏、副部会長に松田真明氏、木村和行氏が選任されました（令和4年7月11日就任）。

2期目となる部会長に就任した田村氏は「皆さんご承知の通り、青年部活動の継続や組合の将来を担う次世代の育成には非常に厳しい課題が山積している。そんな状況の中でもこのメンバーで困難を乗り越けて明るい未来を切り拓いていきたい。そのためには是非全国の首長の皆さんのお力添えをいただきたい」と協力を呼び掛けました。

青年部だより

第一回 青年部懇談会

令和4年7月24日（日）に組合会館4階会議室にて、第一回青年部懇談会が開催されました。この懇談会の趣旨として、組合員の皆様の企画で、組合員の皆様の悩み、相談などを聞く会として立ち上げさせていただきました。

- 今回は、組合の研究所の立松所長にもご協力をいただき、
- ①近々のトラブル等について
 - ②ブランドジャージ（スウェットパンツ）のトラブル
 - ③ボンディング加工の剥離について
 - ④お役立ち情報
 - ⑤安全ピンについて
 - ⑥シルクスカーフ・シルクスツールなどのタグ付けについて
 - ⑦スカーフ・ストールの包装について
 - ⑧生地の特徴について
 - ⑨毛（ウール）の特徴

といった内容で、箕浦副理事長の司会進行で行われました。

とても身近で、日常の仕事にすぐに役に立つ情報ばかりで、参加いただいた皆様からの質問も多数いただき、とても活発で充実した会になりました。

今後毎年2～3回は開催していこうと考えております。何かお困りの事や問題等ありましたら、青年部懇談会で相談してください。参加者みなで解決するとともに、みなでスキルアップをしたいと考えております。

青年部 部長 小林範昭



あしたのすてきに！ 東邦ガス

東邦ガスの体験型業務用厨房ショールーム

プロ厨房オアシス

OISIS

会議室として
約100名さま
収容可能です！

研修会、会合にご利用ください！

〒455-0018 名古屋市港区港明二丁目3番1号
みなとアクルスエネルギーセンター1階
東邦ガスプロ厨房オアシス TEL:052-653-7775
営業時間 土曜、日曜、祝日を除く 9時30分～17時

東邦ガス プロ厨房オアシス 検索

https://gasmo.tohogas.co.jp/oisis/



知っていましたか？



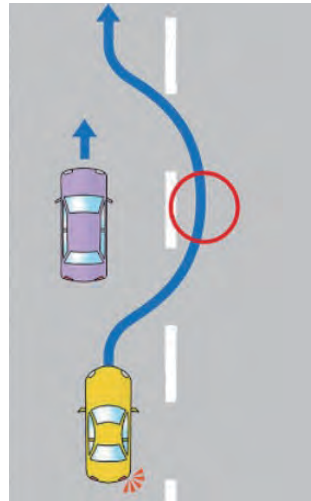
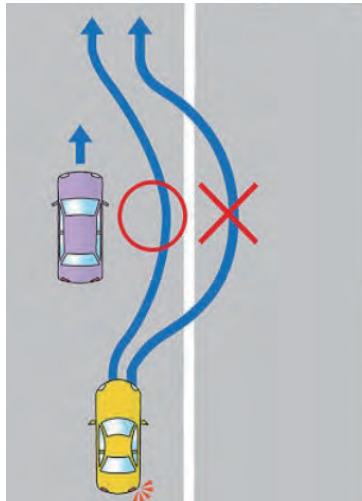
普段、何気なく車で走っている「道路」ですが、道路には細い道をのぞいて「センターライン」が引かれております。センターラインには、いくつかの種類があることは、車を運転している方ならご存じかと思います。追い越し禁止など知っていても、いつの間にか道路交通法違反を犯してしまっている場合は無いでしょうか？

例えば、コロナになってから増えてきた「原動機付自転車」や「電動キックボード」ですが、これらは法定速度が低速に定められているため、前を走っていると、つい追い越したくなります。白の破線の場合は、接触をしないように「車線を越えて」安全な距離を保ちながら追い



越すことが許されておりますが、白の実線の場合は「車線を越えず」に、安全な距離を保ちながら追い越すことが許されております。しかし、これはかなり厳しい状況になるため、つい車線を越えて追い越しをしていないでしょうか？黄色の実線や交差点の手前30メートルは「追い越しが禁止」のため、いくら遅くても追い越すことが出来ないのです。細くて対面通行が多い郊外の道路では、黄色の実線が多く、低速車が道を譲るまでは、追い越すことが出来ないのです。

これ以外にも、三輪のスクーターも増えてきましたが、三輪のスクーターには「白ナンバー」と「水色ナンバー」があります。これは、スクーターの幅が違い「水色ナンバー」は一般車と同じ扱いになり、原動機付自転車では走れない車線でも走行が可能になります。いくら遅くても法定速度内であれば、違反扱いをすることが出来ないのです。道路交通法は、少しずつ変わっています。違反をしないために、免許更新時には「教本」に目を通して見るのも必要かもしれません。



組合の今後について

最近「公正取引委員会」を取り上げたドラマが放送されておりますが、ご覧になられた方は居りますでしょうか？このドラマは、大物の〇〇と大手企業数社が手を組み、「談合」が行われている問題を取り上げたストーリーとなっております。大手が受注した大規模工事を、受注した大手に利益をもたらす「下請け」に委託をするというもので、逆らえば、当然ですが「仕事がなくなる」ということです。現実に行き始めていることかどうかは分かりませんが、全くの作り話なら、このようなドラマは生まれないのではと思います。これとは少し形が違いますが、我々「クリーニング業界」でも「組合員外」の大手企業によって、クリーニング業法が変えられるかもしれない危機が迫っております。それが「24時間受け渡しボックス」や「宅配クリーニング」です。

愛知県では、クリーニング業法に基づき「対面による受け渡し」や「衛生面の安全性確保」などにより、24時間受け渡しボックスの設置を許可していませんが、他県では設置を許可している、正式には「置いたものが勝ち」のような状態で、設置されているところもあります。これは、大手が

「既成事実」を作り、さも自分たちは正しいことを行っているように、クリーニング業法を変えようとしています。このような状況に目を閉じ、見て見ぬ振り、もしくは後押ししている大物〇〇が居るとか居ないとか・・・ 大きな力を持った「人」や「団体」と手を組む人は、決して少なくはありません。話題になっている「旧〇〇教会」も、大きな力を持った団体の一つかもしれません。だからといって、全ての大手がそうではありません。組合に加盟して、このような横暴に目を光らせている大手の方もおられます。規制緩和についても、全てがいけないわけではありませんが、緩和してはいけないこともあります。近年、業界内で問題が起きるときは、ほとんどが「一部の同業者」による独占欲から起きていると考えられます。業界を守っていくのは「自分たち自身」です。組合員外の大手よりも、組合の力が弱くなれば、組合は大手に立ち向かうことはできません。そうなる前に、今一度「組合加盟のクリーニング店」が一丸となって、組合の力を強くする時期が来ていると思います。皆で、組合を「力のある組織」にしていきましょう！

「コロナ太り」その14。



大谷 秀樹

久しぶりにお盆休みという事もあり車で1泊旅行をしました。昭和世代なので参考にするのはもっぱら「るるぶ」。自宅には20冊以上も揃っています。大好きなんですよ、あの品のないというか、何でもありな感じの情報満載感が。さてまずは行き先ですが今年も本当に毎日暑いので少し涼し気な高原、ハイキングも楽しめてという事で長野県ヴィーナライン、白樺湖でホテルを予約しました。諏訪湖まではひたすら移動時間、車中るるぶをめくりながらまずは北八ヶ岳ロープウェイで一気に山頂へ。2,000mを超えると霧で真っ白の世界へ。風速15mでかっぱなど持ってきた防寒具を全部着て山頂へ。坪庭自然園という溶岩ゴロゴロ、ハイマツの中矢印に沿って迷わないように歩きました。14.5℃の中縞枯山小屋でホットコーヒーをいただきました。次は車山高原へ移動。リフトを2本乗り継ぎ山頂からは見事な富士山が眺められました。1日雨には降られず、のんびり過ごせました。白樺湖は以前知多西支部の家族旅行で日帰りて来た事があったのですが遊園地はあるプール、ボーリング、パターゴルフとリゾート地なのですがそこを通り抜けた先が今夜の宿です。さてその宿ですが予約の時に「コロナウィルスの3回目のワクチン接種済証を提示頂ければ信州割という制度が利用できます。」と言われていたので免許証と一緒に出したら1人2,500円割引で精算できま

した。夕・朝共にバイキング形式でしたがおかずを取る時は両手ビニール手袋にマスクを必ず着けてくださいとの事でした。

翌日は時々小雨の降る中霧ヶ峰高原を歩いて鐘を鳴らし、八島ヶ原湿原(ビジターセンターをスタートして八島ヶ池・鎌ヶ池を経由する1周90分くらいの木道を今まさに花の季節というくらい高山植物が咲き乱れる中ほぼ平坦な道でした。)をのんびり散策して途中山小屋でぜんざいを食べました。美ヶ原高原は霧の中屋外の美術館を写真を撮りながら歩きまわりました。今回の目的の一つはヴィーナラインを気持ち良く走る事でしたが、2日間ともほぼ霧の中でした。るるぶの写真を見ながら「晴れていたら」とか「本当はあの山が見えてたのに」とか話してましたが、「まあ次に来る理由が出来たから良しとしよう。」と言いつつ前向きな性格の2人でした。もう一つの目的の涼しい所に行きたいというのは、ほぼ叶いました。寒いからという理由で窓は閉めていたくらいです。

諏訪湖までもどり片倉館の千人風呂に入って帰路に着きました。高速に乗ってからがすごかった。恵那山トンネルを抜けてから家までずーっとどしゃぶりの雨。日頃の行いが良いのか旅行を楽しんでいる間はほとんど降られませんでした。2日間で32,000歩。よく歩きよく食べよく遊びました。



技術情報

ウェットクリーニングを考える

クリーニング師の研修が新しいクールに今年度から入りました。前のクールではドライクリーニングをとりあげましたが、今回はウェットクリーニングをとりあげました。組合員さんは殆どが三年後の受講なので、この技術情報の中で取り上げていきたいと思います。

取り扱い表示の変更で **W** が入り、我が業界にとっては朗報かとおもわれましたが、そうでも無いようです。**W**、**W**、**W** の洗浄試験条件はダメージを与えない洗浄を求めています。お客様の綺麗にして欲しいという要望通りになるかどうかは業者側の知識と技術にかかっています。機械メーカーがわざわざ売り出した **W** 対応の水洗機で処理して綺麗になりませんでしたでは、お客にプロでこの仕事と思われクリーニング店離れを加速させかねません。又先日の業界紙に消費者が衣類に求める機能で家庭洗濯出来る事が最も多いとの記事がありました、家で洗うよりクリーニング店のほうが綺麗になるこれが我が業界の生き残り策です。従来通り水洗い×製品のウェットクリーニングも我が業界の仕事です。

この業界のひとは承知ですドライクリーニングでは汗は完全に取れません、この時期の夏物の仕舞い洗い、来年以降もお得意様でいただけるためのウェットクリーニング、手間もかかりますが料金アップの一助にもなります。具体的にどうするか次回以降にも書いていきますが、まずは組合にご相談ください。

立松 元

特急ひだ号 新旧車両 マニアック解説

エンパイヤランドリー 山田 雅之

皆さんは、高山や下呂温泉方面に観光などでお出かけの際は車で行く方が多いと思いますが、今年の秋の行楽シーズンは、ぜひ!新型車両が登場したJR東海の特急ひだ号での旅をオススメします。

私、鉄ちゃん目線で(笑)、今の時期にJR高山線で行って欲しい理由があります。それは新型車両へ更新する移行期間なので、行きと帰りに新旧それぞれの車両を体感できるのは今だけになるからです。

新型車両のHC85系は、今どきの自家用車の様な環境に配慮したハイブリッド車両になります。発電専用のディーゼルエンジンで発電をして、その電気でモーターを回して動きます。日産のe-POWERと同じ様なシステムになりますね。



新型 HC85



新型 HC85 車内

車内の案内ディスプレイには、新型車両をアピールする様なハイブリッドシステムの作動状況を運転中には表示されます。コレを見れば、今はエンジンで発電された電気で走っているか、電池にたまった電気だけで走っているか、ブレーキエネルギーを回生しているかが一目でわかります。ディーゼル車両にありがちな、うるさいエンジン音や振動は、遮音がしっかりしているのかほとんどしませんでした。駅で停車中は、蓄電池からの電気を供給するなどして、可能な限りエンジンの存在を消す工夫もされていました。ちなみに車両の型式上は、モハ85のように「モ」がついているので、エンジンは搭載されていますが電車の扱いになっています。もちろん従来の車両はキハ85で「キ」で気動車扱いです。



新型 HC85 車内



旧型 キハ85

そして間もなく引退を迎えてしまう旧型車両のキハ85も、とても魅力的な車両なので、ぜひ乗り納めして欲しいと思います。1989年JR東海初の新型車両ということで、とても意欲的な車両です。当時としては画期的なハイパワーな外国製エンジン(カミンズ社)350psを2台搭載して、電車並みの加速力と最高速度120キロを実現しました。鉄ちゃん目線だと、このハイパワーエンジンからの音や振動を味わえなくなると思うと寂しさを感じます。今でも色褪せないデザインや豪華な車内は、まだまだ現在の世の中でも十分通用するので、引退はもったいななあなあと感じます。車両愛称にワイドビューと言うだけあって、座席位置が通路より一段高く、座席の肘掛けよりも少し下あたりから広がる窓からの眺望は、新型車両よりも素晴らしいので、今のうちに飛騨川沿いを走る高山線の景色をキハ85から堪能して欲しいです。

最後の鉄ちゃん目線ポイントは、車内放送時のチャイムが変更された事です。キハ85で使われるワイドビューチャイムと言って、JR東海の在来線特急すべてで採用されているものから、車両型式上電車であるHC85には、なぜか国鉄気動車用のチャイム「アルプスの牧場」のリメイク版に変更されました。地味なポイントですが、なかなかの注目ポイントなので、乗車の際はぜひ聞き比べてみてください。乗れない方は、YouTubeで「ひだ号車内チャイム」で検索して聞いてみてくださいね。

皆さんも是非、今しかできない新旧車両乗り比べができる特急ひだ号の旅をしてみませんか。

今期もシミ抜きスクール開催します!

今年度も有志主催の石塚シミ抜きスクール愛知5回コースが開催されます。私は、愛知青年部主催のシミ抜きセミナーに参加したのが石塚先生との出会いで、以降青年部役員、部員の人力で全5回のアイクリシミ抜き講習会が始まりました。一期目は、青年部員中心の参加者で始まりましたが回を重ねるごとに熱心な組合員の参加者が増え組合、アイクリ、有志開催と変わってきましたが今回で13期目となりました。



スクールに参加してシミ抜きの基礎から実践まで理論的に教えて頂き売上に繋がるメニュー作りや販売方法まで多くのヒントを教えてくださいました。

また、講習会修了者の為にシミ抜き勉強会を毎月水曜夜、組合会議室に集まり技術向上に努めています。シミ抜き技術相談や補色色掛け指導、薬剤機材の情報などが中心となりますが皆さんからの意見や要望などを役員の方にまとめて頂き工場見学、工程指導なども開催されています。

近年、コロナ禍で集まる機会も限られていましたが今年は、箕浦副理事長をはじめ愛知の認定講師陣が個々の色掛け補色の技術的な指導されました。毎年会員の興味があり勉強したい事など年々パワーアップしています。もちろん会員さんのスキルもアップしていますよ。興味のある組合員さんは、シミ抜き講習会に参加してみてください。今までの講習会に参加経験者の方は勉強会に参加しませんか?組合まで問い合わせしてみてください。 ひらのやクリーニング 平野 利雄

クリーニングしてから保管していたコートの襟の黄変色除去依頼です。



名城支部懇親会

皆さん、こんにちは。名城支部の支部長を仰せつかり、おめでとうございます。名城支部では令和4年8月27日に、3年ぶりの「支部懇親会」を開催しました。参加人数は、支部員の半数ではありませんでしたが「美味しい料理」や「お酒」に舌鼓を打ちながら、それぞれの店の近況や、青年部懇談会の話、開催してほしいセミナーなどの話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。美味しいものを食べながらの会話は、付き合ひの浅い者同士でも、気楽に会話ができるようになります。「最強の武器」ですね!当然ですが、お店は

「感染拡大防止対策」がしっかりと取られており、大きめの部屋に長机(1.5メートル程)に一人一人が座り、安心して食事ができるように配慮がされており、ビールの差し入れもあり、とても素敵なお店でした。久々の会食で、気分が盛り上がり、つい「写真」を取ることを忘れてしまったのが、唯一の失敗でした。

会話は、お互いのお店の「強み」や「弱み」が違うところから、最近悩んでいることやトラブルの相談をすること、得意としている人から「アドバイス」を貰い、また「使ってみて良かった商品」や「外注先の紹介」をする事で、良い情報などを共有することが出来ました。このような場を設けることで、支部全体の知識や技術力が上がり、地域の消費者から信頼を得ることへと繋げることが出来ます。いまだに「商売敵同士が仲良し小好しで...」などと言っておられる方がいると聞きますが、名城支部には居ないことが分かります。心しました。名城支部では、規制がかかっている状態の時、隔月で支部会を行っており、これからの「情報共有」のできる支部会を開催し、トラブル商品やクレマーなどの情報交換を行い、問題回避やお得情報の話し合える支部会になるように努めていこうと考えております。